

第55回定期総会は定刻の10時中島副会長の司会で開会。37名の新旧班長さんの出席により総会が成立していることを確認後、山本会長から「多数のご出席はコロナ禍で制限されている町内会活動への期待をひしひしと感じる。時間をかけて議論を尽くしたいが、昨今のコロナ感染状況もあり速やかな議事進行にご協力を」などと挨拶。議長に8班の新班長の小林さんを選出し議事に入りました。

議事では、山本会長から21年度活動報告として①コロナ禍の中で活動は限られ、対面の班長会議は2回にとどまったこと、②その中でも福祉部では「ふれあいいきいき通信」やクリスマスコンサートで交流を図ったことなどのほか、③マス花壇の土壌改良や冬季間の明るく輝く街づくりキャンペーンなどについて報告。さらに木原会計部長から「パートナシップ排雪が7割排雪で支出も7割になったこと」などを含めた決算報告、杉山会計監査から監査報告を受け、質疑に入りましたが質問・意見が出されず、全体の拍手で各報告が確認されました。

続いて、22年度の活動について山本会長から、今後のコロナ感染状況が不透明であり変更もあり得ることを前提に、補足として①新しくマス花壇整備の有償ボランティア制度も活用した花のある町づくり、②引き続き冬季間の明るく輝く町づくり、③時代に即したデジタル化の推進などのほか、④災害時優先救助リストと救助協力者リストの作成と災害時における救助体制の整備、などについて強調。加えて「白樺会独自のイベント、サークルなど人と人のつながりを発展させたいので積極的な意見や企画の提案を期待している」との提案といくつかの議案書の印刷ミスが訂正が行われました。また、木原会計部長から22年度予算案について、「コロナ禍の中ではあるが、行事などは実施を前提に予算を組んだ」ことが説明されました。

質疑では、「予算案の収入・支出合計が違っている」との指摘が出され、木原会計部長から支出の合計に印刷ミスがあり、合計は収支とも4,872,128円であることが説明され、その他の質問・意見がなく全体の拍手で行事計画・予算案を確認。最後に、改めて役員の自己紹介を行い第55回総会を終了しました。